

# 12月25日で浦幌駅・厚内駅は開業120周年



## 博物館の窓

第100回

学芸員

持田 誠

今年2023年は、十勝に初めて鉄道が通じて120周年という記念すべき年です。1903明治(三十六)年の十二月二十五日、当時の官設鉄道釧路線が、音別から浦幌まで延長開業。このとき、浦幌駅と厚内駅が、十勝地方初の鉄道駅として開業しました。

### 浦幌駅が無かったら浦幌町も無かった

このころ、浦幌の中心地は現在地ではなく、浦幌川下流の生剛地区にあり、村の名前も「生剛村」でした。当初は厚内から昆布刈石を経て海岸沿いを南下し、生剛に近い十勝太に駅を作る計画でした。

しかし、計画が変更となり、厚内から内陸へ向きを変えて浦幌に駅を作ることに。そのおかげで生剛から市街地がそっくり移転し、村の名前も「浦幌村」となり、現在の町の姿へと発展していったのです。計画どおりだったら、いまでも町の中心地は生剛、町名も「生剛町」だったかもしれません。



上:すずらの装飾がされた浦幌駅ホーム上屋。「祝震災復興」と「町政施行」の文字が見えるので、1954(昭和29)年撮影と思われる。下:かつての厚内駅駅舎。(浦幌町立博物館所蔵)